

賢材研究会 2021年度活動報告

1. 第一回学術交流会 中止(新型コロナ感染拡大に伴い) 2022年度に繰り越し
 - ・日時; 2021年6月9日
 - ・場所; ふじのくに地球環境史ミュージアム、登呂遺跡、静岡市登呂博物館
2. 第二回学術交流会「南方熊楠を巡る旅」
 - ・日時; 2021年9月7、8日
 - ・場所; 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸(田辺)、南方熊楠記念館(白浜)
 - ・参加者; 9名
 - ・内容
 - ・南方熊楠邸では邸内の調度品や倉庫の所蔵品、そして庭の植生などの説明を受けました。
 - ・南方熊楠顕彰館では粘菌(変形菌)標本など観察しました。
 - ・南方熊楠記念館では南方熊楠の紹介ビデオを鑑賞後、展示コーナーで幼少期から海外渡航期、帰国後の和歌山での生物学や民俗学の取り組み、日常生活の様子を知る展示物の説明を受けました。
 (講演)
 - (1)「南方マンダラと生物多様性」大阪大学 大原智教授
 - (2)「南方熊楠の生い立ちと国内外での学術成果」南方熊楠顕彰館 土永知子学術研究員
3. 第三回学術交流会「ルネッサンス・エナジー・リサーチと神戸大学先端膜工学研究センターの取り組み」
 - ・日時; 2021年11月25日
 - ・場所; ルネッサンス・エナジー・リサーチ・神戸研究所、神戸大学先端膜工学研究センター
 - ・参加者; 25名
 - ・内容;
 - 神戸大学構内のルネッサンス・エナジー・リサーチと神戸大学先端膜工学研究センターを視察しました。
 (講演)
 - (1) 神戸大学先端膜工学研究センターの取り組み (神戸大学先端膜工学研究センター 松山秀人センター長)
 - (2) CO₂ 選択透過膜(促進輸送膜)によるCO₂分離・回収 (ルネッサンス・エナジー・リサーチ 岡田治社長)
 - (3) 海洋をCO₂吸収サイトとする海水電解システム構築の可能性 (静岡大学 須田聖一教授)
4. 総会および第四回学術交流会
 - ・日時; 2022年3月24日
 - ・場所; JFCC(ファインセラミックスセンター)
 - ・総会; 2021年度報告(活動、会計)、会計監査報告、2022年度(活動方針・計画案、役員案、予算案)
 - ・学術交流会
 - JFCC 見学; 情報科学原子分解能電子顕微鏡(ARTEMIS)、5Gに対応した評価システム
 - (話題提供)
 - (1) 最先端透過型顕微鏡法による賢材の電磁波観察 ~半導体/個体電池から隕石/リュウグウの分析まで (JFCC 山本和生主席研究員)
 - (2) フランス赴任報告 (新東工業 開発本部開発 G 浅野憲啓主任)
 - (3) 太陽光から高温熱源を創る波長選択吸収膜 (JFCC 奥原芳樹主席研究員)
5. 会員入退会
 - 法人入会; なし (2社から入会希望あり、今後オブザーバー参加いただき、入会検討いただく)
 - 個人入会; 橋本智恵
 - 法人退会・個人退会; なし
6. そのほか
 - ・幹事会; 4月7日、5月12日、7月9日、8月6日、10月6日、1月25日、2月18日 計7回(オンライン併用)
 - 内容; 学術交流会の詳細検討・準備、会員入会・退会、会計予算進捗確認検討、来年度活動の検討ほか
 - 幹事会に合わせて話題提供の時間を設けた; 西脇先生(8月)、松原先生(2月)
 - ・ホームページ作成更新